

平成30年9月14日

同日配布

奈良県政・経済記者クラブ  
筑波研究学園都市記者会

奈良県森林技術センター 森林資源課：河合・今治  
電話 0744-52-2380 FAX 0744-52-4400  
奈良県農林部林業振興課 総務企画係：山下・迫田  
電話 0742-27-7471 FAX 0742-24-5004  
(内線 3945,3944)

森林総合研究所 研究ディレクター（生物機能研究担当）：山中  
森林総合研究所 広報普及科広報係  
電話 029-829-8372 FAX 029-873-0844

## 報道資料

### 「バカマツタケの人工栽培による継続発生に成功」

奈良県森林技術センターでは、平成27年度から国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所と共同で「高級菌根性きのこの栽培技術」の研究をしてきました。今年の2月に、全国で初めて、人工的に林内でバカマツタケ菌を増殖させ子実体（きのこ）の発生に成功したことを発表しました。昨年発生した場所を継続調査したところ、今回複数の子実体が発生しているのを確認できました。バカマツタケの菌が実験林内に定着し、順調に増殖しているものと考えられます。今後、栽培技術を確立して、県内の「きのこ生産者」に技術を普及していきたいと考えております。

きのこの種類：バカマツタケ（正式和名）（吉野郡等では「サマツ」又は「ハマツ」と呼ばれる）  
松林にでるマツタケと異なり広葉樹の根に菌根を形成する。  
見た目はマツタケとほぼ同じで、マツタケよりも香りが強く、  
食味も同等の食用きのこ。



今年発生したバカマツタケの一部



昨年発生したバカマツタケ